

# 連合東京 長時間労働・過重労働撲滅キャンペーン すべての働く者の安全と健康の確保をアピール

連合東京は、国の過労死等防止啓発月間に合わせ、11月を「長時間労働・過重労働撲滅キャンペーン月間」として取り組んでいます。

11月17日（火）は、昼の休憩で多くの働く人が往来する新橋駅 SL 広場前で、連合東京労働安全衛生委員会のメンバーと連合東京役職員が中心となり、感染症対策をとりながら街頭宣伝行動を実施しました。

近年、働き過ぎやパワー・ハラスメント等によって多くの尊い命や心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっていることに加え、今年はさらにコロナ禍で働き方が大きく変わる中、パートや有期雇用契約で働く人も含め、すべての働く者の安全や健康を確保することが喫緊の課題であると広く社会にアピールしました。

多くの人にとって、働くことは生活やお金のためだけでなく、社会とのかかわりを持ったり、自己実現をしたり、スキルアップにつながるなど大切な意味を持っています。しかし、働き過ぎは健康に様々な影響をおよぼし、ひいては過労死につながる危険もあります。誰もが安心して健康に働くことができる職場環境になっているかあらためてチェックして、将来に希望の持てる職場・社会にしていきましょう。